

**第 9 5 回日本医療機器学会大会併設機器展示会
メディカルショージャパン&ビジネスエキスポ 2020
「福島県ブース」出展企業の募集について**

この募集は、令和 2 年度の予算成立を前提としています。

福島県では、メディカルショージャパン&ビジネスエキスポ 2020「福島県ブース」へ出展いただく企業を募集いたします。

医療機器学会併設の展示会ですので、医療従事者や関係メーカーの方の訪問が期待できます。福島県に立地しており医療関連産業に携わっている企業の皆様や、新たに参入を目指している企業の皆様。「福島県ブース」の一員としての出展を、是非御検討ください！

1 募集内容

(1) 展示会名称

メディカルショージャパン&ビジネスエキスポ 2020

(2) 展示会日時

2020年6月11日（木）～13日（土）

(3) 場所

パシフィコ横浜ノース 1F「多目的ホール」

※2020年4月にオープンする予定の新しいコンベンション会場です。

（〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-2）

(4) 主催

（一社）日本医療機器学会

大会長 平田 哲（旭川医科大学 理事・副学長）

(5) 募集対象

「福島県ブース」出展企業（12社程度）

(6) 出展資格

下記ア～ウ全てを満たす企業

ア 福島県内に事業所・製造所を有する企業（本社の所在は問いません。）

イ 医療機器に関連する製品、材料・部品を製造し、納品実績がある企業（医療機器製造業登録の有無は問いません。）又は、今後医療機器関連業界へ新規参入を目指す企業

ウ 出展各社と県で構成する実行委員会（仮称：福島県メディカルショージャパン2020 出展実行委員会）への参加が可能な企業

※ 実行委員会について

例年、出展各社の意見を反映させるため、実行委員会を立ち上げています。

実行委員会では、「福島県ブース」出展に係る費用の検討及び執行を行うほか、出展に関して必要な事項について協議し、決定します。

（例年、事務局は県が担当し、実行委員長や会計担当など各役職については、出展企業の中から依頼しています。）

(7) 展示対象

自社で製造した（又は研究開発を進めている）医療機器関連の製品、材料・部品（医療機器への応用を想定したものを含む）及びこれらに関連する技術

(8) 展示方法

「福島県ブース」を設置し、出展各社はブース内で上記展示対象品を展示する。

※ 1 2 小間(1 社 1 小間、通路を挟んで 6 社と 6 社が向かい合うブース形式)に福島県ブースを設置予定（基礎小間をベースに装飾業者へ委託）。

※ 展示においては、パネル等を各社独自で作成し、自社のアピールポイントを分かりやすく説明していただくことを想定しています。

また、希望する出展企業には、展示会場内でプレゼンテーションによる PR を行っていただくことを予定しています。（約 1 5 分程度）

※ 展示会場における販売行為は禁止されています。

(参考) 2 0 1 9 年（令和元年）開催時の「福島県ブース」実績

◆ 7 企業・団体が福島県ブースとして出展

◆ 名刺交換数 3 5 2 枚



2 メディカルショー・ジャパン&ビジネスエキスポの特徴

(1) (一社) 日本医療機器学会の学会大会と展示場が併設されているため、多くの医療従事者が入場します（例年、入場者全体の約 3 割が医療従事者で、残り約 7 割がメーカー等となっています）。

(2) 直近の開催地及び延べ入場者数（3 日間）は、以下のとおりです。

2017 年（横浜、5,946 名）、2018 年（横浜、5,744 名）、2019 年（大阪、6,395 名）

(3) 学会大会では、スケジュールの途中で「メディカルショー見学休憩」を設け、入場者を展示場へ誘導するなど、十分な配慮がなされています。

3 「福島県ブース」に参加するメリット

- (1) 平成17年度からスタートした県の「次世代医療産業集積プロジェクト」により、福島県は、受託生産金額や部品等生産金額が全国第1位（平成30年厚生労働省・平成29年経済産業省統計）となるなど、全国有数の医療機器生産県に成長しました。今日では、医療機器産業先進県として「ふくしま」ブランドが確立されています。

また、同プロジェクトの一環で、平成28年11月に開所した「ふくしま医療機器開発支援センター」は、国内外の関係者から注目を集めており、「ふくしま」ブランドに更なる磨きをかけています。

出展各社がこの「ふくしま」ブランドを活用し、「チームふくしま」として一体となったPRを行うことにより、効果的な誘客を見込むことができます。

- (2) 出展料や装飾工事費などの出展費用について、企業単独出展の場合、約30～50万円程度かかりますが、「福島県ブース」の場合、県の補助により、出展社の費用負担が大幅に軽減されます。

さらに、「チームふくしま」として統一感のある、PR力のあるブース内で製品等の展示を行うことができます。

4 出展費用について

- (1) 出展費用に係る予算は、出展各社と県で構成する実行委員会（仮称：福島県メディカルショージャパン2020出展実行委員会）で協議の上決定し、執行します。
- (2) 出展費用の財源については、県の補助金の他、出展各社に負担金の拠出をお願いしています。

※ 県の補助金は、令和2年度の予算成立を前提としています。

※ 出展各社の負担金額は、出展社数や予算の状況により変動しますが、目安として1社当たり10万円～15万円程度となる見込みです。

- (3) 実行委員会で執行する出展費用の内訳は、出展料、装飾工事費、広告費（福島県ブースのガイドブック等）などを想定しています。

※ 当日の展示品の送料や旅費、その他、出展社独自の費用については、実行委員会の予算に含まれず、別途自己負担となります。

5 申込方法

別紙「出展申込書」に必要事項を記載の上、令和2年3月12日（木）までに下記申込先あてに電子メールにてお申し込みください。

◆お申込・お問合せ先

福島県商工労働部 医療関連産業集積推進室（担当：飯村）

メールアドレス iimura_miki_01@pref.fukushima.lg.jp

電話 024-521-7282

※ 申込多数の場合等、必要に応じて出展企業を県で選定する場合がありますので、予め御了承下さい。